

～〈東京二期会コンチェルトンテ・シリーズ〉第三弾～ オペラ『サムソンとデリラ』公演を延期 指揮者にジェレミー・ローレルを招聘

2021年1月5日(火)・6日(水) Bunkamura オーチャードホールにて
2020年7月4日(土)より、チケット再発売開始

公益財団法人東京二期会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月に予定していた東京二期会コンチェルトンテ・シリーズ『サムソンとデリラ』を、2021年1月5日(火)・6日(水)に延期させていただくことといたしました。

指揮には、準・メルクルに代わり、フランス音楽界の新しい騎手として才能豊かな活動を展開しているジェレミー・ローレルを招聘します。すでにウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ザルツブルク音楽祭、グラインドボーン音楽祭でオペラを指揮する一方、作曲家としても評価されている逸材です。日本でオペラを指揮するのは本公演が初。欧州の音楽界に鮮烈な印象を残し続けるジェレミー・ローレルと、東京フィルハーモニー交響楽団、東京二期会屈指の歌手陣との融合により、新たに誕生する『サムソンとデリラ』にご期待ください。

指揮者 ジェレミー・ローレル プロフィール

指揮 ジェレミー・ローレル Jérémie Rhorer

1973年、パリ生まれ。世代で最も才能豊かな指揮者の一人。ル・セルクル・ド・ラルモニー管弦楽団創業者兼音楽監督として、オリジナル楽器を使用した18、19世紀レパートリー追求をリードしている。指揮者としてモーツァルトから現代作品まで、幅広く賞賛を得る一方、ピエール・カルダン賞を受賞するなど、作曲家としても評価されている。

モントリオール交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ゲヴァントハウス管弦楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団等これまでに様々なオーケストラに客演。

また、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、モネ劇場、リヨン歌劇場、テアトロ・レアル、ローマ歌劇場等で指揮。権威ある音楽祭への招聘も多く、エクサン・プロヴァンス音楽祭、グラインドボーン音楽祭、エディンバラ音楽祭、BBCプロムス、ザルツブルク音楽祭等でオペラを指揮。2018年7月にはマリオン・コティアールが題名役を務めたオネゲル『火刑台上のジャンヌ・ダルク』でスポレート音楽祭クロージングコンサートに登場。ル・セルクル・ド・ラルモニー管弦楽団とは、メジャー演目に対する新たな解釈を導く存在として、オリジナル楽器を使用し、DVDがリリースされている『セビリヤの理髪師』（シャンゼリゼ劇場、エディンバラ音楽祭、ブレーメン音楽祭）、『椿姫』（シャンゼリゼ劇場、ブレーメン音楽祭）等を上演した。

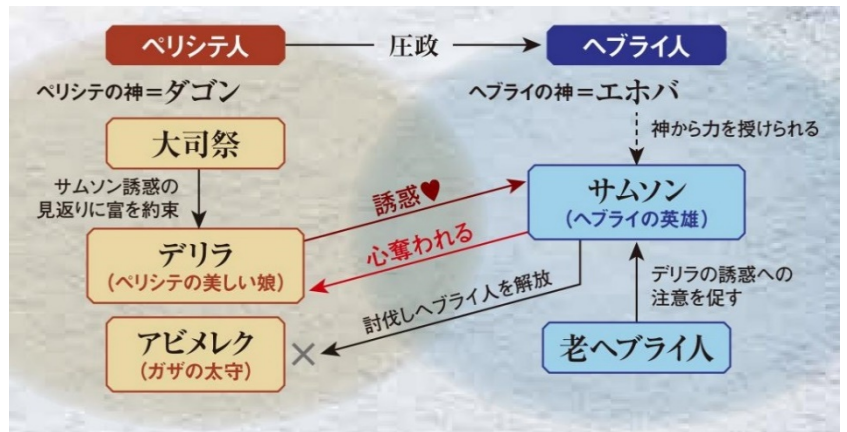
2020年3月アル・ブスタン音楽祭にてカメラータ・ザルツブルクと共演、ベートーヴェン・アニバーサリーイヤーのプロジェクトを行った。ル・セルクル・ド・ラルモニー管弦楽団とともに、エクサン・プロヴァンスのプロヴァンス大劇場レジデントとして教育プログラムにも従事している。



©Caroline Dautre

『サムソンとデリラ』 あらすじ

古代パレスチナの都ガザ。かつてヘブライ人の地であった都は今やペリシテ人の支配下に。ヘブライの英雄サムソンは、唯一神エホバから授けられた怪力により、ペリシテ人の太守を倒す。絶世の美を誇るペリシテ人の娘デリラは、復讐のためにサムソンを誘惑。その執念の誘惑にサムソンはついに籠絡され、ペリシテの神ダゴンの神殿に捕らえられる。神通力を失い眼をえぐられ光も失ったサムソンだが、神への懺悔とともに最期に再び力を取り戻し、その怪力にて神殿を崩落させ、己ともどもペリシテの人々を壊滅させる。



参考：東京二期会コンチェルト・シリーズとは？

東京二期会がBunkamuraで展開するセミ・ステージ形式の新オペラ・シリーズ。チャレンジングなレパートリー展開をめざし、オーケストラを取り囲むように設置されたステージで、映像と照明を駆使して上演。ドラマへの理解を深めながら、オペラの楽曲の魅力を存分にお伝えします。

第1回は2018年3月、ベッリーニの『ノルマ』、第2回は2019年4月、マスネの『エロディアード』を上演し、いずれも新しいオペラの表現方法として、高い評価を得ました。

東京二期会をご支援ください～ご寄付のお願い

この度の新型コロナウイルス感染拡大により、感染防止の観点から、多くのオペラ公演、コンサートの中止や延期が相次いでおります。この影響から私ども東京二期会も、今後の事業存続にかかわる極めて深刻な事態に直面しております。

東京二期会では、これまでも、オペラ舞台芸術の維持、発展のため、民間の企業、団体様、さらに幅広い個人の皆様に、財政面でのご支援をお願いさせていただき多大なお力添えを賜ってまいりましたが、この度の危機的状況を受け、あらためて多くの皆様にご支援をお願いをさせていただいております。

ホームページまたは右記のQRコードよりアクセスください。
お電話での受付ならびにお問合せ先
TEL：03-3796-1831 donation@nikikai.net
公益財団法人東京二期会 マーケティング部



【東京二期会の寄付は、税額控除の優遇措置が受けられます】

東京二期会は、内閣総理大臣から「公益財団法人」（府益担第3541号）として認定され、当財団に対する寄付について特定公益増進法人としての税法上の優遇措置がとられています。これに伴い、ご寄付頂いた皆様は、税制の優遇措置を受けることが可能となり、また公益社団・財団法人に対する税額控除適用法人として証明を受けたことで、個人の寄付の場合は「所得控除」（従来型）または「税額控除」のいずれか一方の選択により税額控除が適用されます（平成23年度税制改正）。

[個人の場合]

《所得税》確定申告によりその年の特定寄付金合計金額のうち2千円を超える金額につき適用されます。

「税額控除」適用の場合の例

$(\text{寄付金額} - 2 \text{千円}) \times 40\% = \text{税額控除額}$

※寄付金額＝総所得金額等の40％が限度 税額控除額＝所得税額の25％相当額が限度

[法人の場合]

税額控除の対象となります。一般の法人寄付金とは別枠で、損金算入が認められています。

サン＝サーンス 『サムソンとデリラ』

オペラ全3幕 日本語字幕付き原語（フランス語）上演

Bunkamura オーチャードホール ※変更なし

2021年1月5日(火)19:00、6日(水)19:00

※開場は開演の60分前

※上演予定時間：約2時間20分（休憩を含む）

指揮：ジェレミー・ローレル

音楽アシスタント：佐藤正浩

照明：八木麻紀

舞台監督：幸泉浩司

舞台構成：飯塚勲生

合唱指揮：大島義彰

公演監督：永井和子

映像：栗山聡之

公演監督補：大野徹也

キャスト：

	1/5(火)	1/6(水)
デリラ	板波利加	池田香織
サムソン	樋口達哉	福井敬
ダゴンの大司祭	門間信樹	小森輝彦
アビメレク	後藤春馬	ジョンハオ
老ヘブライ人	狩野賢一	妻屋秀和
ペリシテ人の使者	加茂下稔	伊藤潤
第1のペリシテ人	澤原行正	市川浩平
第2のペリシテ人	水島正樹	高崎翻平

※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

チケット料金（全席指定・税込）

S10,000円 A9,000円 B6,000円 C4,000円 学生2,000円

※チケットお申込みと同時に「二期会オペラ愛好会」へもご入会いただけます（チケット先行予約、割引サービスあり）

※未就学児ご入場不可

チケット再発売日：2020年7月4日(土)～

チケットのご予約・お問合せ：二期会チケットセンター

TEL.03-3796-1831（月～金=10：00-18：00/土=10：00-15：00/日・祝=休）

インターネットご予約は、「二期会チケット」で「検索」 <http://www.nikai.net/ticket/index.html>

その他プレイガイド

チケットスペース03-3234-9999

Bunkamuraチケットセンター03-3477-9999

チケットぴあ0570-02-9999（Pコード：確認中） <https://pia.jp/>

ローソンチケット0570-000-407（Lコード：確認中） <https://l-tike.com/>

イープラス <https://eplus.jp/>

2020シーズン特別協賛企業：ダイドー株式会社

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

主催：公益財団法人東京二期会、Bunkamura